

「墨田区都市計画マスタープラン」改定区民ワークショップ 成果発表会の概要

平成19年度

■成果発表会の概要

◎**テーマ：区民ワークショップの検討成果の発表**

◎**日時：2007年9月27日 19:00～21:00**

◎**会場：すみだ生涯学習センター 2階ホール**

これまでのワークショップの検討内容を都市計画マスタープラン改定検討委員会に提案するため「成果発表会」を開催しました。

各グループの発表では、熱弁のあまり予定時間をオーバーするグループが続出しました。また、発表の後には、検討委員会委員から「提案内容を計画に反映していきたい」という頼もしい言葉のほか、「計画の具体化も皆さんの力にかかっている」といった激励のコメントもいただきました。

■当日の流れは・・・



都市計画マスタープラン改定の検討委員でもある
田中副区長より開会の挨拶がありました



ワークショップの提案書を提出しました
「よろしくご検討ください」



6グループの提案の発表
熱弁のあまり予定時間を少しオーバーしました



一般の参加者の方も熱心に発表を聞いています



会場のレイアウトを変更し、
検討委員会委員からコメントをいただきました



小出委員長に総評をいただき、
最後に会場からの意見も紹介しました

■今後の予定は・・・

ワークショップとしての検討はこれにて終了となります。今後は、ワークショップの提案内容が計画にどのように反映されているかを確認する集まりを最後に予定しています。

■各グループの主な発表内容①（詳細は当日配付資料をご覧ください）

◎Aグループ：荒川沿いの墨田・八広地区に堤通・東向島地区の一部を加えた、概ね明治通り以北の区の北端部に位置するエリア



どうすれば道路を広げずにまちの防災性を向上できるか、智恵を絞りました。自主消火を可能にする消火栓の設置や法善寺横町を見習った法律を超えるための工夫などこの地域ならではのやり方ができれば良いという思いで提案をまとめています。

◎Bグループ：東向島・向島・京島といった密集市街地のまちづくりと曳舟・押上・業平橋といった大規模開発が並んだ区の中央部に位置するエリア



このグループは、新タワーと曳舟の開発を契機に地域がどう元気になるかという視点から、道（車の道と歩いてもらう道をはっきり区分し、路地は歩いて楽しいみちに）、緑（緑を増やす）、水（曳舟川の再生や大事な隅田川を対岸からの視線を意識して整備する）をポイントに提案をまとめています。

◎Cグループ：小村井、東あずまの2駅を中心に広がる立花・文花地区に旧中川で結ばれた東墨田地区を加えた、区の東端部に位置するエリア



もっと住みやすいまちにしよう、誇れる／自慢できる地域にしようという思いで検討してきました。美しい旧中川の土手を活用する計画、特徴ある公園づくりの方法、廃校・廃工場等をユースホステルやレストランとして活用する等の具体的なアイデアなど地域の特徴を活かす提案をまとめています。

◎D1グループ：両国駅周辺から、両国・本所・吾妻橋にわたる、概ね北を北十間川、東を大横川親水公園までを範囲とするエリア



碁盤目状の道路をうまく活用するため、街区内の生活道路では車道を狭めて自転車と歩行者優先のみちづくりを行うことを提案します。また、この地域は埋もれている歴史資産がたくさんあるので、これを掘り起こし、地元の理解を得ながら観光に活かせると考えています。

◎D2グループ：錦糸町駅周辺から、錦糸・業平にわたる、概ね北を北十間川、西を大横川親水公園までを範囲とするエリア



“新タワーのあるすみだ”の方向性として、錦糸町～両国～押上～浅草という広く面でまちづくりを捉えることが必要です。この地域では特に大横川親水公園を軸にまちの魅力を広げる、伝統工芸など地域の特徴が分かるお店など碁盤目状の街並みを分かりやすくすることなどを提案します。

◎D3グループ：菊川・立川・緑を中心とする、概ねJR線路または豎川／首都高速道路以南の区の南端部に位置するエリア



地域の真ん中を流れる豎川を中心に、「自転車道」や「緑のネットワーク」、「景観の整った主要な道路」などが地域全体に広がっていけば良いというのが提案の骨子です。区民ミーティングの中で地域の方からあげられた、菊川駅周辺の整備についても是非検討いただきたいと思います。

■発表を受けて①

◎墨田区都市計画マスタープラン改定検討委員会委員からのコメント

ワークショップの提案の発表後は、会場のレイアウトを変えて都市計画マスタープラン改定検討委員会委員の方々から内容に対するコメントをいただきました。



各委員から「良くまとまった内容だった」というお褒めの言葉をいただく一方で、「計画の実現も区民の力」という趣旨の激励の言葉や、具体的なアドバイスもいただきました。

○都市計画というのは地図を広げて上からものを決めてきたようなところがあったと思うが、今回のワークショップでの検討や提案は我々区民の生活している目線から区の計画に反映していくという意味で素晴らしい機会だったと思う。(岸委員)

○皆さんの生の声がたくさん詰まって、良くまとまった内容だったと思う。委員としては、これをどのように計画に活かしていくか責任を感じている。(岡本委員)

○地域が頑張れば実現できる、他所の好事例を参考にした提案など、どうしたら実現できるかを考えたくなるような内容だった。今後は、地域の声をまとめて実現するというのを具体的に進めていって欲しい。(篠崎委員)

○画一的な手法ではなく、今の状況を残しながら防災性を高めるという提案が多かったが、最新の技術を使えば実際にできるのではないかと思えるものもある。実現には住民の負担もあるかも知れないが、そういう声があると防災を専門に取り組んでいる我々の力にもなる。(小出委員長)

○道や水辺、緑、住みやすさなど共通点が多かった。個人的に興味を持っていた路地に加えて、特徴のない碁盤目状の道路の演出など、道に関する提案を墨田区ならではのものとして実現していければ良いと感じた。(加藤委員)

○委員会でもワークショップの報告は随時聞いていたが、住民が集まって熱心な議論を行うところに、墨田らしさを感じた。我々区民が地元の強み弱み分かって提案すること本当に良いことだと思う。(小菅委員)

○南部地域の碁盤の目状の道路に対しては「きれいに整っている」という高い評価ばかりだと思っていたが、住んでいる方にとってはそうではないということが大きな発見だった。区の打ち出すまちあるき観光との関連からも意見の反映を考えてみたい。(田中委員)

○拠点や道路、河川という点や線だけでなく、それらを包含する面としてのまちづくりという指摘が一番印象に残った。(渡会委員)

◎小出委員長の総評



- ・責任を持って皆さんの提案を反映するように努力します。
- ・ヨーロッパでは、どこでも行ける、歩いていけるというコンセプトのもと、道路から自動車を追い出して、公園や歩道をつくってしまったという例もあるように、今、生活空間の中の道路の使い方が世界共通の課題となっています。
- ・今回の発表の中でも「道」に関する提案が多く見られましたが、そういう意味で墨田区の意識も世界レベルにあると言えるのではないのでしょうか。

■発表を受けて②

◎会場からいただいたご意見



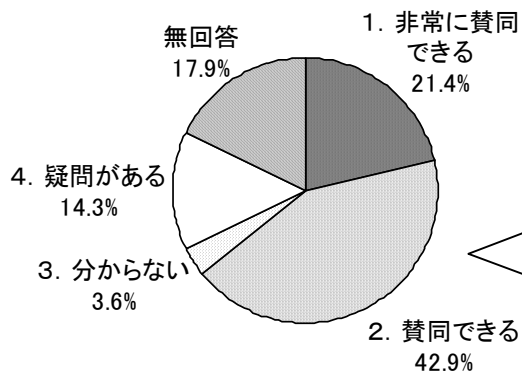
会場からその場で集まった意見が5つ。うち2つが道路に関するもので、道路に関しては会場の関心も高い様子が見られました。

<その場でいただいた意見の概要>

- 一口に道路といっても色々なものがあるので、きちんと定義をして、その区分毎に区の実情に当てはめて検討していくことが必要なのではないか。
- 歩道が狭く自転車と歩行者の混在が問題である。解決のためには、街路樹を撤去するか、歩道を拡幅するか、二者択一となるところがあると思うので、きちんと検討しておく必要がある。
- 活性化に取り組んでいるので良い。
- 活性化と住環境が2大テーマだと思うが、活性化に力点がかけすぎていると感じた。
- 今後の具体化が重要である。

<会場で配布したアンケートから（一部抜粋）>

Q. お住まいの地域のワークショップの提案内容はいかがでしたか？



こんなコメントをいただきました。

- 路地のあるまちづくり、墨田らしさを大切にしてください。
- 曳舟川の復活と北十間川の観光ルート化、墨田川（公園）の活性化（良かった）
- 面として検討すること（良かった）
- 熱心な区民の意識を持続していけば少しずつ住みやすい素晴らしい区に近づくとと思います

Q. 本日の成果発表会でお気づきになったことや、墨田区のまちづくりなどについて、ご自由にお書きください

○当日の会に関する内容（感想など）

- ・よくまとまっています。ご苦労様でした
- ・具体的な提案は多くなかったが、区民が自分の住んでいる地域についてどう思っているかを行政に伝えるいい機会になったのではないかと思います

○具体的なまちづくりの内容（提案や要望など）

- ・熱意とパワーを感じました。D2グループについてですが、業平商店街は今後タワーが出来た後どのようにシフトしていくのか検討していくべきではないかと感じました
- ・新タワーのある墨田のまちづくりという視点が忘れられている印象を持ったのでその点を十分検討していただきたい
- ・Bグループ区域内には歴史のある社寺や百花園がある。これらの整備活用を考えるべきではないかと思う
- ・本日の件ではとりあえず反対しませんが、鐘ヶ淵の踏切の危険度がとても高いことに対応して下さい
- ・向島地区・本所地区それぞれに良いところがある。それを継ぐ交通が半蔵門線+東武しかなく錦糸町から向島地区に行けるバスが欲しい。区民でもそれぞれの良いところを知らないことが多い

○その他の内容（区の施策のあり方など）

- ・都市計画をたてるだけでなく「出来ることからやっていくことが必要と思います」是非とも並行しながらやってほしい